

第 11 回 仙台市総合計画審議会議事録

日 時	令和 3 年 1 月 15 日（金） 18 : 00～19 : 15
会 場	TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール 1
出席委員	跡部薫委員、阿部一彦委員、飯島淳子委員、岩間友希委員、姥浦道生委員、遠藤智栄委員、奥村誠委員、菊地崇良委員、小岩孝子委員、今里織委員、今野彩子委員、今野薫委員、榊原進委員、佐々木綾子委員、佐々木真由美委員、笹羅良輔委員、佐藤静委員、庄子真岐委員、高城みさ委員、竹川隆司委員、館田あゆみ委員、傳野貞雄委員、永井幸夫委員、浜知美委員、舟引敏明委員、松本由男委員、渡辺敬信委員、渡邊浩文委員 [28 名]
欠席委員	阿部重樹委員 [1 名]
仙 台 市 (事務局)	梅内まちづくり政策局長、郷湖まちづくり政策局次長、松田政策企画部長、上田政策企画課長、郷古政策企画課地方分権・大都市制度担当課長、阿部政策企画課主幹、長谷川政策企画課主幹
議 事	1 開会 2 議事 (1) 仙台市基本計画（答申）案について (2) その他 3 閉会
配付資料	資料 1 仙台市基本計画（答申）案 (別紙 1) 杜の都のグリーンインフラ (別紙 2) 土地利用方針図 (別紙 3) 都心まちづくりの方向性 (別紙 4) 目指す将来の交通体系のイメージ

1 開会

○松田政策企画部長

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
定刻となりましたので、仙台市総合計画審議会を開会いたします。
それでは、奥村会長よろしく願いいたします。

○奥村誠会長

ただいまから「第 11 回仙台市総合計画審議会」を開会いたします。
はじめに、本日の審議会運営についての説明を事務局から願います。

○松田政策企画部長

政策企画部長の松田でございます。事務局よりご説明いたします。
本日も、新型コロナ対応として、会議形式と Web 会議方式を併せた形で開催いたします。
TKP ガーデンシティ仙台勾当台の会場内では、アルコール消毒剤の使用などの対策を講

じておりますが、会場の皆さまには、マスクの着用、咳エチケットの励行にご協力いただきますようお願い申し上げます。

委員の皆さまへのお願いでございますが、ご発言の際は、お名前を名乗っていただいたうえでマイクに近づき、お話しいただきますようお願いいたします。なお、音声が聞き取れなかった場合に、再度ご発言をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

事務局からは以上でございます。

○奥村誠会長

はい、ありがとうございます。皆さんご協力をお願いいたします。

本日はこの審議会の最終回でございます。郡市長にこの会場においでいただきありがとうございます。ここでご挨拶をお願いいたします。

○郡和子仙台市長

皆さま、おばんでございます。年明け早々の大変お忙しい中を審議会の委員の皆さま方にご参集をいただきましたこと、改めまして感謝を申し上げます。今日は新しい基本計画の答申書の取りまとめの最終日と伺い参りました。冒頭、ご挨拶をさせていただきたく、少々お時間をお借りいたします。

まず、この総合計画の策定にあたりましては、今後ますます将来展望がなかなか開けなくなるような、いろいろと複雑な社会を迎えるであろうことを見据えまして、ご審議いただく時間を十分取りたいという思いがございましたので、現行の計画の策定段階よりも1年早く取り組ませていただくということで、平成30年10月にこの審議会を立ち上げさせていただきました。

それから2年4カ月もの長きにわたって委員の皆さま方には本当にさまざまな角度で活発なご審議をいただきました。中でも「仙台の強みというのを掛け合わせながら、さらに強いまちにしていくんだ」というようなご議論ですとか、それからまた「実際に市民の皆さま方と連携をして協働しながらまちをつくっていくダイナミズムが重要だ」という視点などがございまして、未来に向けて本当にたくさんのご議論をいただいたと強く感銘を受けたところでございます。

とりわけ、新たな杜の都に向けての理念をお示しいただきました「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」という案をお示しいただきましたときには、この先の仙台の進むべき道筋、道程を照らしていただいたような、そんな思いを強く受けまして感銘を受けたものでございます。

それから委員の皆さま方にもご参加をいただきましたけれども、多くの市民の方々、年代を超え、さまざまな方々からお声をいただく機会もつくらせていただきまして、本当に市民の方々もいろいろな思いを仙台にお持ちになっていただいて、このまちの誇り、あるいはこのまちの未来について熱いご意見をいただいたこと、このことは私自身も大変ありがたく思ったところでございます。

一方で、当初は全く予想だにできなかったことが発生いたしました。新型コロナウイルス感染症でございます。しかし審議会の皆さま方には、この世界中が大変厳しい状況にあり

ますけれども、ここをしっかりと乗り越えて、そしてコロナ後の仙台を見据えたご議論をしていただきましたこと、このことも大変ありがたく思ったところでございます。

いよいよ最終段階に入ったわけですが、この基本計画のみならず、今仙台ではさまざまな行政計画の見直しを進めておりまして、この基本計画と並ぶ「杜の都環境プラン」など3つの計画についても、昨日答申をいただいたところでございます。

いよいよ来年度からは新しい仙台に向けての新しい一歩を進めるときだと思っております。これまでの皆さま方のご議論に感謝を申し上げますとともに、後日その答申を手にすることを心待ちにしたいと思うところでございます。

いずれにいたしましても、このまちの未来に向けて、また皆さま方とともに前に進んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます、感謝の言葉にさせていただきます。本当に長い間ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。郡市長は公務の関係でここまでの参加となります。どうもありがとうございました。

○郡和子仙台市長

よろしくお願い申し上げます。

○奥村誠会長

次に定足数の確認を行います。事務局から報告をお願いします。

○松田政策企画部長

定足数についてご報告いたします。本日は現時点で28名の委員の方にご出席をいただいております、定足数である委員の過半数の出席を満たしておりますのでご報告いたします。

○奥村誠会長

ありがとうございます。

次に、会議の公開・非公開の取り扱いですけれども、前回までと同様、公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

(了承)

ありがとうございます。それでは、公開といたします。

続きまして、本日の議事録署名委員の指名ですが、今回は庄子委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(了承)

よろしく申し上げます。

それでは、事務局から資料の確認をお願いします。

○松田政策企画部長

委員の皆さまには、本日の資料を事前に郵送でお送りしておりますほか、会場参加の委員の皆さまには、改めてお手元に本日の資料一式をご用意しております。

本日の資料ですが、資料1は「仙台市基本計画（答申）案」の冊子になります。それから別紙1から4が付いております。資料の不足はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

なお、会場参加の委員の皆さまにつきましては、前回の審議会の資料など、これまでの主な資料を綴じた青いファイルも、併せて机の上にご用意しております。以上でございます。

2 議事

(1) 仙台市基本計画（答申）案について

○奥村誠会長

それでは本日の議事に入ります。本日の議事は「(1) 仙台市基本計画（答申）案について」となります。

前回の審議会では、パブリックコメント、あるいは説明会などで市民の皆さまからいただいたご意見を踏まえて、修正すべき点について審議をいたしました。本日は最後の審議会になりますので、今回修正した箇所を確認したうえで、答申の文案を決定していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、先ほど郡市長からのご挨拶にもありました通り、今年度は「杜の都環境プラン」、それから「仙台市都市計画マスタープラン」など、さまざまな分野の計画策定が進められているところで、これがもう大詰めを迎えております。その改定の段階からすでにこの総合計画の内容を反映するような形で議論が進んでいるということでございますので、ご理解いただければと思います。

それでは事務局から修正箇所についての説明をお願いいたします。

○上田政策企画課長

政策企画課長の上田でございます。よろしくお願いいたします。私からご説明いたします。

前回11月に開催いたしました第10回審議会にて、パブリックコメントなどを踏まえた基本計画修正案についてご審議をいただきました。その後、追加のご意見を踏まえまして、今回答申案を取りまとめたところでございます。

本日は、前回の審議会でのご意見を踏まえた修正のポイントを中心に、答申案をご説明してまいります。

それでは資料1の2ページをご覧ください。2ページの下、「仙台市の将来人口推計図」

でございますが、事務局でこちらを更新しております。これは、最新の2020年10月1日時点の推計人口を基にいたしまして、再度推計を行い、その結果を反映したものでございます。

今回の推計におきましては、本日の地元紙の朝刊でも少し記事がございましたけれども、仙台では近年、社会増が堅調に推移しており、その傾向を反映しましたところ、総人口のピーク年や、100万人を割り込むタイミングが前回までの推計と比べまして5年ほど延伸する見込みとなっております。

しかしながら、ピークの人口はこれまでとほぼ同程度であることや、また長期的には穏やかに人口減少を続けるといった部分につきましては、大きな傾向に変わりはありませんでした。

このため、(2)の将来人口推計の記載内容に影響はございませんが、100万人を割り込む時期の記載、「2050年から2055年にかけて」の部分だけ本文に修正を加えました。

続きましてチャレンジプロジェクトに関するところです。14ページから15ページ「防災環境都市プロジェクト」の実施の方向性02について、前回の審議会で「環境の記述がやや薄いのでは」というご意見がありましたので、脱炭素等の記載を充実させました。

また、前回「地域協働プロジェクト」に盛り込んでおりました「MaaSなどの生活の利便性を高めるサービス」については、中間案のときのように実施の方向性03に改めて位置付けることといたしました。

続きまして18ページから19ページ「地域協働プロジェクト」です。実施の方向性02については、先ほど申し上げました「MaaSなどの生活の利便性を高めるサービス」を前回の案ではこの実施の方向性02に位置付けておりましたけれども、前回の審議会議で中間案時点のように「『多様な主体の力を地域に活かす』に戻した方が良い」とのご意見をいただきましたので、中間案までの構成に戻しました。また、「若者との世代間交流の視点についても書き込む必要がある」というご意見がありましたので、その部分についても反映しております。

続きまして20ページから21ページ「笑顔咲く子どもプロジェクト」です。いただいたご意見を踏まえまして、実施の方向性01にオンラインと対面を組み合わせることにより、学びの機会だけではなく学びの質の向上を図るという視点、実施の方向性03には、相談はオンラインのみではなく、対面の相談も重要ではないかという視点について、今回記載を追加しました。

続きまして24ページから25ページ「TOHOKU未来プロジェクト」です。こちらは前回の審議会の中で「地方への移住促進に向けて、サテライトオフィスの誘致についても言及できないか」というご意見がございましたので、実施の方向性03の3つ目のところで、「魅力的なオフィス環境やMICEなどの受け入れ環境の整備」という視点を追記しております。チャレンジプロジェクトに関する修正は以上です。

続きまして30ページから31ページ「未来をつくる市政運営」です。31ページの「(4)デジタル化により豊かな市民生活を実現させる」につきまして、前回の審議会でのご意見を踏まえ、専門性の高い人材の育成や情報リテラシーの向上について盛り込むとともに、全体的に文章の修正を行いました。

続きまして 46 ページからの「施策の一覧」です。前回の審議会でのご意見を踏まえ、特に環境分野について記載をさらに充実させました。具体的には 47 ページの「2 環境」の「(1) 脱炭素を推進する」で、温室効果ガスやエネルギーといった項目の記載を充実させました。次に 48 ページ「(4) 自然との共生を推進する」でも生物多様性や環境アセスメント制度の内容についてさらに追記を行い、内容を充実させました。「施策の一覧」の大きなポイントについては以上です。

別紙の図における修正ポイントについてです。まず別紙 1「杜の都のグリーンインフラ」です。真ん中の下側、「市街地（都心部）」の中で「グリーンビルディングの要素についてもう少し書き込んではいかがでしょうか」というご意見がございましたので、グリーンビルディングの整備などについての記載をさらに盛り込みました。

続きまして別紙 3「都心まちづくりの方向性」です。こちらは「国分町エリアは仙台市の中でも大切なエリアだ」というご指摘を踏まえ、国分町エリアを新たに明示し、「飲食店等が集積するエリア」と説明を付けて内容を位置付けております。また、左上の「都心まちづくりの基本方向」の説明文の一番下には、前回ご指摘のありました防災力や環境性の向上による安全・安心の視点についてもさらに盛り込みました。

また、表記している主要な施設につきましては、この計画の本文の中で触れている関連施設や一定規模以上の公共施設、大学に統一する整理をいたしました。

なお、県有の施設につきましても、県の総合計画にあたります「新・宮城の将来ビジョン」との整合を図るとともに、県にも確認させていただいたうえで内容・項目を整理いたしました。

最後に別紙 4「目指す将来の交通体系のイメージ」ですが、右側下の部分、「広域的な交通ネットワーク」について「空路や海路についても少しビジュアルがあると良いのではないか」というご意見がありましたので、船や飛行機の絵を今回追記いたしました。

前回のご意見を踏まえた答申案の大きな修正ポイントについては以上です。

○奥村誠会長

ありがとうございました。それではただいま説明がありました修正箇所について、これでよろしいかどうかご確認いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(意見なし)

それではこの事務局の案の内容を審議会答申の案にしたいと思いますが、ご承認いただけますでしょうか。

(承認)

ありがとうございます。それではこの内容で市長に答申を行いたいと思います。本日の審議は以上でございます。どうもありがとうございました。

(2) その他

○奥村誠会長

続きまして「(2) その他」でございます。事務局から1点あるようですので、説明をお願いいたします。

○上田政策企画課長

今後のスケジュールについてご報告いたします。ただいまご確認いただいた基本計画の答申は、来週1月22日金曜日に奥村会長から市長へ答申を行う予定です。

また、答申の内容を受け、市で基本計画案として、第1回定例会に議案として提案を行いまして、議会のご審議をいただく予定としております。以上でございます。

○奥村誠会長

ただいまの説明にご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

では、本日は最後の審議会にあたりますので、ここで委員の皆さんから、委員として審議に参加いただいている感想等あると思いますので、一言ずつお話しいただければと思います。最初の審議会でも申し上げましたが、30人近く委員がおりますので、最大でも2分ぐらいでお願いできればと思います。

それでは、Web参加の委員の方からお願いしたいと思います。

佐藤静委員、お願いします。

○佐藤静委員

ありがとうございました。現在、教育局でも新しい教育プランを策定中です。この総合計画ともつながるものになりますので、引き続きどうぞよろしくをお願いいたします。以上です。

○奥村誠会長

ありがとうございました。館田委員、お願いします。

○館田あゆみ委員

会長、副会長にはこんなに大変なものをお取りまとめいただきまして、本当にありがとうございました。大変だったと思います。

個人的なことになりますが、この委員会の30人ぐらいの委員の中で何人かの方々といういろいろな新しいつながりをつくることができまして、今後もしろいろなお仕事につながればと思っています。

それからこの委員を務めることによって、仙台市への理解とか愛着が深まったかなと思っておりまして、今自分にできる範囲とか分野にはなりますけれども、何とか盛り上げていきたいなという思いを強くしているところでございます。

どうもありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。竹川委員、お願いします。

○竹川隆司委員

いつもありがとうございます。最終回でもありましたので、何としても行きたい気持ちが強かったのですけれども、折からの緊急事態宣言もありましたので、私自身東京からの移動となってしまうためオンラインで参加させていただきました。

まずは今回2年以上にわたりまして、ご一緒させていただきましたことを本当に光栄に思っておりますし、心から感謝申し上げます。

私自身、「IMPACT Foundation Japan」という団体で社会起業家、ソーシャルイノベーターの育成支援に携わるとともに、自分自身も起業家として自ら事業を進めている立場からいろいろと思ったことを発言させていただきました。今回、総合計画に実際に盛り込まれたチャレンジのほとんどは、実際私たちが支援している、いわゆる社会起業家たちが率先して解決に取り組んでいくべきものが多いなと思っています。

そういう側面からも、また自分自身が策定に関わらせていただいた1人だという立場からも、これから実際のアクションにつなげることで計画の実現の一端を担えればなというふうに思っています。

本当にいいものができたのではないかと思いますので、ここからはいかに実践するかだと思っています。そのうえで私たち委員一人一人がまずはコミットするということが大事だと思っていますし、本当はこれをどこかに書けたら良かったのかな、コミットメントの印として最後にサインをするぐらいやった方がいいのかなと思ったぐらいなのですが、それは最後、皆さん一人一人の発言がどこかに書かれることで残っていけばいいのではないかと思います。

数年後に「これはGreenestだよな」、「これはGreenestに照らして進めるべきものだよな」といったことが、理念だけではなくて実際の価値基準として広がるといいなと思っていますので、これからもいろいろな方とご一緒させていただくことを楽しみにしております。本当にこのたびはありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。舟引委員、お願いします。

○舟引敏明委員

誠にご苦労様です。長いことありがとうございました。会長も特に大変だったと思います。

先ほどありましたように、竹川委員の「Greenest」という提案で一気に計画が未来に広がったような気がいたしております。

本当に皆さま、どうもありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。それでは会場に戻ってきまして、後ろからいきます。渡邊浩文委員、お願いします。

○渡邊浩文委員

まずは皆さま、お疲れ様でしたと申し上げていいのかとは思いますが、今 Web 上から竹川委員、舟引委員がおっしゃっておられたように、僕個人的には「まちと活力部会」の部会長というお役を頂戴しまして、あれを無事に終えたというところで7～8割のエネルギーを燃焼してしまったかなという感じはあるのですが、ただ部会の方の初回で何か靴の上から足を搔いているような、何か物足りなさを感じていたのが、たしか2回目の部会だと思うのですが、竹川委員から「The Greenest City だ」というような言葉が出てきて、そこから議論がガシッと噛み合ったかなと思っております。

私は環境審議会の方の会長をしております、持続可能だとか、脱炭素というようなことも盛り込むようにあちらの審議会でも非常に強い思いをもって議論されているのですが、ああいうお話が違和感なくできるのは、この総合計画が活かされているというか、世の中の皆さんの意識や仙台にとってもある意味追い風になっているのではないのかな、と考えているところであります。

この基本計画は10年計画でありますけれども、その先を見据えた大きな一歩をまず踏み出す、大きな位置付けになるのではないかなと思っております、10年後だけでなく20年後、30年後への足掛かりという意味でも、いい計画になったのではないかなと思っております。

○奥村誠会長

ありがとうございました。渡邊敬信委員、お願いします。

○渡邊敬信委員

これまでの間、会長をはじめとして、委員の皆さまの活発なご議論を聞かせていただきながら、私もたまには発言させていただきましたけれども、これからこの10年、この仙台市が目指すべき方向性をここでいったん示していただいたということで、本当に委員の皆さまをはじめとして関係するまちづくり政策局の皆さんにまずはお疲れ様でしたと申し上げたいと思っております。

私個人の話となりますけれども、総合計画審議会は途中からの参加であり、最初は右も左も分からず、ちょっと戸惑ったところもありましたけれども、本当に委員の皆さまのさまざまなお話を聞かせていただき、大変勉強になったところもございました。そういった意味で、皆さま方に感謝を申し上げて挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。松本由男委員、お願いします。

○松本由男委員

ありがとうございます。感想ということなのですが、私からは感謝を申し上げたいと思います。というのは、実質参加は11月に1回、今日で2回目になります。そういう意味で本当に、感謝と御礼を申し上げたいと思います。すばらしいものができたのではないかと考えております。

手順としては来週、会長から市長へ答申されて、あとは議会の議論、議決を経て生まれるという手順でございますけれども、実施計画を含めて総合計画になりますから、ここからが勝負というか、魂を入れていくことが大事なのだらうと思っております。そういう意味で、今日で実質終わりますけれども、今日からは市民の1人として協働で魂を入れて作りあげていきたいなと思っております。本当にお疲れ様でございました。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。浜委員、お願いします。

○浜知美委員

皆さん、長きにわたり本当にありがとうございました。このような委員会に出させていただいて、本当にいろいろな立場から意見を述べさせていただきました。自分で会社をやっている身として、母として、それから多文化・共生の意見とか、いろいろなことを言わせていただいたのですが、まさにここからがスタートです。市民が仙台市をつくっていくという意識で自分もいろいろな人を巻き込みながら、楽しいまちをこれからも意識高く、自分がやるんだという気持ちでやらせていただければと思います。本当にありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。永井委員、お願いします。

○永井幸夫委員

奥村会長をはじめ委員の皆さん、本当にご苦労様でした。この会に出させていただいて、仙台のまちが将来こんなになったらいいなという夢とか、それから皆さんから出たすばらしい理念、これらに非常に感銘を受けましたし、同時に多くの解決すべきことがあるなというふうに感じました。

現実にはコロナ禍で大変厳しい世の中になっておりますが、数年後にコロナが落ち着いたときには、この理念が一気に花開けばいいなと思っております。ただ、「言うは易く行うは難し」ですので、為政者の方、それから行政、議会の皆さんに頑張ってもらわなくてはならないし、何より多くの市民の方々の協働作業が必要だというふうに思っています。

僕個人としては小児科の医師を長年やっておりまして、未来を生きる子どもたちのためにということをも自分の理念としてずっと診療を続けてまいりました。今回その中で仙台の

まちを子育てしやすいまちにすること、子どもたちが健やかに育つためにどうしたらいいのかということが内容に随分含まれたので大変うれしく思っていました。仙台の未来に大いに期待して、挨拶いたします。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。傳野委員、お願いします。

○傳野貞雄委員

この審議会に加わっただけで私自身も成長したなという思いです。市民としてすばらしい10年間をこれから過ごしていきたい。そのためには、私は町内会の代表でありまして、日常生活、安全・安心を守る立場として、この答申に沿ったものを是非運営に取り入れながら前に進めていって、10年後にはもっといいまちにできるよう皆さんにも伝えながら取り組んでいきたいと心に刻んでおります。

審議会に選んでいただいて、本当に感謝をしていますし、仙台を知ることもできたということと、新しい目標も与えていただいたということに感謝してお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。高城委員、お願いします。

○高城みさ委員

途中から審議会の方に参加させていただいて、毎回委員の皆さまからたくさんの意見が出され、それをまとめるのも非常に大変だったのではないかなと思います。こうして案としてまとめていただきましたことに、会長をはじめ事務局の皆さまにも感謝を申し上げます。

コロナ禍での運営にもかなりのご苦勞があったかと思いますが、最終回を迎えることができたのも、事務局の皆さまのお力添えあってのことだと思います。ありがとうございました。

そして計画通りにプロジェクトを進めていけるよう、我々保護者も子育てはもちろんですけれども、地域づくりの方にも力を入れていきたいなと思います。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。庄子委員、お願いします。

○庄子真岐委員

このような審議会の委員をやらせていただきまして、本当にありがとうございました。仙台で生まれて、仙台で育って、仙台にずっと長い間住んでいたのですけれども、これほど多角的に仙台市のことを考えたことは、恥ずかしながら初めてだったと思います。審議

会には毎回発言するのをすごく楽しみに参加させていただきました。すごく発言もしやすかったです。そういった環境をつくっていただいたことにも感謝したいと思います。

市政だよりの取材の際にもお話しさせていただいたのですが、発言しやすかった要因としては、女性の委員が多かったというのも1つあると思います。いろいろな委員をやらせてもらっていますが、私だけ紅一点ということも結構ございまして、仙台市はやっぱり進んでいるなと感じたところでございます。

私は今回この理念に最上級の表現を用いているところに非常に意義を感じています。理想なのだと思うのです。理想で、今現在とはやはりギャップが結構あるのではないかなと思います。でもそのギャップを埋めるために飛躍するのではなくて、一步一步階段にして、アクションを起こしやすいところに、一步一步進めるような形につなげていきたいなど、私自身もできることから始めていきたいと思います。本当に2年4カ月ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。笹羅委員、お願いします。

○笹羅良輔委員

どうもおぼんでございます。去年の途中からだったのですが、この審議会に参加できたことにすごく感謝しております。奥村会長をはじめ、皆さまどうもありがとうございました。

私は農業をやりながら、自然に触れる釣りであったり、スノボをやったり、地域のコミュニティや消防にも関わっているのですが、何気なく自分で楽しんでやっていたことがこの審議会に出て、それは仙台の魅力だったんだということを改めて感じる事ができました。今日で終わりということなのですが、これからはそれを自分に関わる人であったり、何か発信していければなというふうになるように思いましたので、本当にどうもありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。佐々木真由美委員、お願いします。

○佐々木真由美委員

ありがとうございました。私も今回、途中からの参加で、今日が2度目の参加になります。本当に最後のところでこのように総合計画審議会の委員として参加できたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、今年は何と言いましても、震災から丸十年を迎えます。そういった意味では新たな10年間、この仙台が何を発信していくかということを取りまとめた今回の総合計画でもありますので、私も一市民としてさまざまな角度から注視しながら参画してまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございます。佐々木綾子委員、お願いします。

○佐々木綾子委員

このたびは審議会委員として参加させていただきまして、誠にありがとうございました。そしてまた2年という長きにわたりまして、この会を取りまとめくださった事務局の皆さまにも感謝申し上げます。

私はNPO法人で全ての子どもたちが自分らしく生きられ、可能性を切り開く活動をさせていただいておりますが、今回のこの審議会の中でこれからの新しい仙台の理念を明確化し、ビジョンを掲げられたことが素晴らしいと思いました。

また社会の情勢も大きく変わり、さまざまな問題が出ている中で、問題解決というよりは、未来に向かって創造的な解決をしていく、そういった議論をできたことにこの審議会の意義があったかと思っております。

私自身もこれからの未来を担っていく子どもたちとともにアクションしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。榊原進委員、お願いします。

○榊原進委員

私からも3点あります。まず審議会委員としてこの議論に参加させていただき誠にありがとうございます。また、相当な調整もあったと思いますが、奥村会長をはじめ、事務局の方に取りまとめていただき、感謝申し上げます。

2点目、皆勤賞を取れなかったことと、当初あったお弁当もコロナで出なくなったというのも結構楽しみに来ていたので、残念と言っはいけないのですが、残念だなというふうに思います。

3点目、やはりこれからだという思いです。計画をいろいろ議論していることは、準備運動のように感じていまして、これから自分たちを含め、できることをやってきたいと思っておりますし、市民参画イベントにも何回か出させていただいたこともあって、やはり関わる市民を増やすということが本当に重要ななと思っておりますので、そこについてはできるだけプロセスだけではなくてアクションに移していくための市民参画イベントみたいなものを継続的に是非やっていただきたいなと思っております。我々も協力できることがあればやっていきたいし、私たち自身もそういう場を、機会をつくっていききたいなと思っております。本当にどうもありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。今野薫委員、お願いします。

○今野薫委員

まず公的な立場ということからしますと、我々商工会議所ということで、経済面から仙台をどうやっていこうかというのは常々考え、行動をさせていただいているわけですが、これから非常に難しい時代を迎えるという中にありまして、仙台をより良くしていきましょう、それもみんなでやっていきましょうという1つの大きな方向性がこれででき上がったのかなと感じております。これに則って我々もこれから努力をさせていただく必要があるのかなと感じてございます。

個人的に簡単に2点だけ。1つは今我々の仕事でいきますと、社長さん、会長さん、いわゆる年配の方とお話をする機会が多いのですが、同じテーマでこういう若い方々も交えて議論をさせていただくという機会、大変勉強になりましたし、これからの仙台を担っていかれる方々のしっかりした考え方、そういったものに触れることができましたこと、感謝を申し上げたいと思っております。

また、1回目の会合で奥村会長がお話になられた「掛け算で考えていきましょう」ということ。これ、あちこちで使わせていただいております。そういう意味でもありがとうございます。皆さまにはこれからもどうぞお付き合い賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

○奥村誠会長

ありがとうございました。今野彩子委員、お願いします。

○今野彩子委員

2年半経ったんだなと改めて思いました。自分の生きるまちについて2年半もじっくり考えさせていただく機会をいただいたのは本当に貴重な時間だったなと思っております。

奥村会長がおっしゃっていた「あえて自由に考える余白をつくる」という考え方が非常に私は共感できるなと思っていまして、まさに私たちがそれぞれの場所でそれぞれに考えて、実践していく、挑戦していくということがこの計画の理念を実現していくことになるのだろうなというのを今改めて感じているところです。我々、地元企業としてもまだまだやれることがありますし、この計画の主役の1人として実践を重ねていきたいなと覚悟を持ったところです。

あと、この会議に来るたびに、それぞれの場所に、こんなに強くて大きな思いを持った方々がいるんだということを毎回実感させていただいたことも非常にエネルギーをいただきましたし、我々が力強く進んでいく推進力になると思っております。

それと、仙台にいる若者たちの力というのも非常に感じているところです。審議会がスタートしたときは小学校5年生だった子どもが今は中学生になりまして、区別のイベントに連れていったりとか、全体のイベントに連れていったりとかしたのですけれども、そうするとやはりそれなりに思っていることがあったりとか、発言できたりとか、子どもたちもこのまちづくりの当事者なんだと感じてもらえるような機会になりましたので、このあともそういった機会をたくさんつくっていきたいなと改めて感じたところです。

これからが本番だと思いますので、引き続き挑戦ができるようなまちでありたいなと思っております。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。今委員、お願いします。

○今里織委員

2年半、ありがとうございました。私は労働組合という立場で参加しましたので、今働いている人と、働いている人たちを支えている人と、これから働こうとしている人たちという視点で発言しようと努力をしていたつもりだったのですが、仙台のことが大好きで、生まれてから今までずっと仙台にいるものですから、一市民という立場でも何か考えられたらなと思いながら参加していました。

私も最初に会長が「掛け算で掛け合わせていく考えを持ちましょう」とおっしゃったことがすごく頭に残っていて、自分の考える幅が広がった瞬間になったなと思っています。そしてこの審議会の中でたくさんの方々の意見を聞くことが何よりも自分の勉強になったなというふうに実感しております。この審議会に出席させていただいたこと、大変感謝しております。

実は自分も運営側に回ることが非常に多いものですから、これだけの規模の会議を何回も重ねるといえるのは、すごく大変だったなと思っています。事務局の皆さん、そして運営する、司会進行、審議を進めていかれる会長、副会長、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。これからさらに仙台が大好きになるように、自分もこのまちに貢献していける立場になりたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。小岩委員、お願いします。

○小岩孝子委員

お世話様でした。10年後の仙台を考えるのはとても楽しい一方で、計画にするとすると非常に難しいものがありましたが、いろいろなことに長けた方がたくさんいらっしゃったので、専門的なことを取り入れながら会長、副会長、事務局でいろいろ悩みながらもまとめてくださったなと思って感謝しています。

今後はこの総合計画を傍らに置きながら、たまに振り返りながら、NPO活動を続けていきたいと思っています。

そしてやはり「“The Greenest City” SENDAI」。この言葉を皆でいろいろなところで使いながら、流行らせていきませんか。そして、10年後に「本当にこんなまちになったぞ」というのを、その地に立って実感したいなと思っています。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。菊地委員、お願いします。

○菊地崇良委員

私はフル参加で発言をさせていただきました。議会としてこれから計画を受け取り、今後の実行においてその実現を担う立場でございます。そういった立場から会長以下皆さまに議会としても御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

今後につきましては、この実行は私たち市民自身が担うものでございますので、行政当局と、議会だけの運営ではないと存じております。各分野のリーダーの皆さま方におかれましては、是非この10年間、仙台の進捗について、さまざまな場においてご意見を遠慮なくいただきたいと。生みの親としてご意見をいただきたいなと思ってございます。

それと先ほどもありましたけれど、総合計画だけではなくて、教育も、交通も、あるいは都市マスタープランも、仙台市の計画は今、目白押しの状態です。この厳しい国際環境と衛生環境あるいは人口減少の中で、新しいステージに生まれ変わろうとしています。奥村先生には本当に引き続きよろしく申し上げますということと、皆さんには重ねてこういった新しいステージ、一緒に、ともに協働を進めていくというお願いを重ねて申し上げて、感謝の気持ちとさせていただきます。本当にありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。姥浦委員、お願いします。

○姥浦道生委員

最初にこの計画の取りまとめを担われた奥村会長、それから遠藤副会長、それから事務局の皆さま方、本当にお疲れ様でした。どうもありがとうございました。

一文一文、一言一句を調整していらっしゃる姿を見て、本当に大変な作業だなと思いました。我々も論文を書くときは頑張るのですが、それ以外のときは結構勢いで気分のままに書いてしまうところがあるので、本当にすごいなと思っております。

改めて読んでみますと、いろいろなヒントがこの中にあるなと思ひまして、これからいろいろな計画なり、いろいろな実践なりをしていく中で、ここに立ち戻ることによって計画論的には整合しているとか、していないという話なのでしょうけど、もっとそれを超えたいろいろなヒントなり、気付きなりというものがあるなと思ひました。これもすべて多面的なご意見をいろいろな方々が出された、その結晶かなと思っております。

個人的にはこれから仙台の都心のまちづくりであったり、いろいろなところのまちづくりに関わらせていただきたいと思っておりますので、引き続きこちらで一緒させていただいた皆さま方と、またいろいろなところで一緒させていただけることを楽しみにしております。

あと最後に1つだけ。せっかくなので、先ほども話がありましたけれど「“The Greenest City” SENDAI」のロゴみたいなものをつくって、例えばこの基本計画でもそうですけども、「仙台はこれを目指しているんだ」というのが日本中にちゃんと知れ渡るような形にしてはいかがでしょうか。そうすることでみんなの気持ちを一致させるというか。そういったPRというのも非常に重要なのかなと思っております。以上です。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。岩間委員、お願いします。

○岩間友希委員

2年半と聞いて改めて驚いていました。本当に委員の皆さま、それから事務局の皆さま、ありがとうございました。

私もこの基本計画全体を読んでいて、本当にいろいろな議論があったなと振り返っていたのですが、やはりその理念として「Greenest」という最上級の言葉を掲げられたことがすごくまちとしてビジョナリーでいいな、すごく素敵な計画だなと思っています。

私自身、郊外で活動をする中で、町内会の方とか、高校生とか、まちづくりに関する興味がすごく高まっているなと感じていて、今後はまちづくりのことを聞かれたときに「よく聞いてくれました。それはね」と答えられる後ろ盾ができたようなうれしい気持ちでいます。

でも今後は竹川委員がおっしゃっていた通りで、この計画を実際の施策とか個人の行動にどう移していくかということだと思っていますので、分野別計画においてもこのビジョン、理念に照らし合わせてどうですかという議論をちゃんとみんながやっていくということと、あとは私自身は2030年も自然に仙台を選べたらいいなと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。飯島委員、お願いします。

○飯島淳子委員

貴重な勉強と経験をさせていただいたことをまず御礼申し上げます。

この場で恐縮ですが、私個人だけでなく、東北大学公共政策大学院のワークショップという授業で学生も貴重な勉強をさせていただきました。奥村会長をはじめ、委員の先生方、政策企画課におかれましては、大変お忙しい中、お時間を割いて生のご教授をいただいたことを改めて感謝申し上げます。

学生が「なぜ総合計画をつくるのか」にこだわり続けていたこともあり、私自身、問いとして持ち続けてきました。地方自治法による市町村基本構想の策定義務付けが廃止され、また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のような総合的な計画もある中で、なぜ総合計画を策定するのか。はっきりとした答えはありませんが、このフリーな手法を用いて、仙台市ならではの目標を設定し、手段としても盛り込んでいくこと、また、1年先も見通せない中でこそ長期的なビジョンを持っておくことということは、1つの意義ではないかと思っております。

先ほどから奥村会長の掛け算のお話でしたが、課題立脚型ではなく、未来志向という方法論についても、私自身は課題を抽出して、それに対する答えを探っていくという考え方を持っているものですから、そうではないやり方があるのだということも教えて

いただきました。

これから各分野の基本的な計画が一斉にスタートするということですが、それらの計画を総合計画で調整するといったことも含めて、実施の段階、存在意義そのものについても、引き続き考えてまいりたいと思います。貴重な勉強をさせていただきましたこと、改めて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。阿部一彦委員、お願いします。

○阿部一彦委員

皆さん、お世話になりました。私は仙台市の障害者施策推進協議会との関わりで参加させていただいているのだと思います。そしてまた少しだけ障害福祉領域のことをお話させていただきますと、2014年に障害者権利条約批准のためにみんなでやったのですが、16年に日本の現状の報告をして、審査が昨年8月くらいかなと思ったらコロナで延期しているところです。

そして障害者福祉領域のスローガンとして「Nothing about us without us＝私たちのことは私たち抜きに決めないで」という言葉がありますが、これは何も障害の話に限ったことではないと思うのです。国の審議会にもいろいろ出させていただいている中で、地域のことはあまり語られないという風潮を感じるがありますが、今回のこの計画の中には、福祉のまちづくりは仙台市から始まったという生活圏拡張運動のことなどしっかり書いていただきました。このことによって、言葉を選ばずに言うと、国は必ずしも実行に結び付けなくてもいいといった何となくそういう姿勢があるのですが、仙台市の計画にしっかり位置づけていただいたことを踏まえて、地方分権の中、すべての地域へという活動の大きな力になると思いました。ありがとうございました。

うまく伝えられたかどうか分かりませんが、よろしくお願いします。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。跡部委員、お願いします。

○跡部薫委員

佐々木真由美委員と松本委員と同じように本日2回目でありまして、初めての発言でございますが、そういう意味では弁当が出ていたというのは初めて分かりまして、恐縮でございます。

今朝の地元紙の報道にもありましたが、本市の県外への転出が減少してきたということ、5年ほど人口減少が延伸するということでもございました。また、出生数も増加したといううれしい話題のご紹介がありました。少子高齢化や人口減少が続く見通しの中で、上田課長もおっしゃっていましたが、本市の魅力を高めて選ばれるまちになることが大変重要だということでもあります。

この基本計画は10年の指針ということでございますので、委員の皆さまの情熱と、それから思いが詰まった計画として、今後主戦場はまさに仙台市議会になるのかなと思っております。10年間というのは非常に長いと思っております、先行きが不透明だということもありますが、委員の皆さま、事務局当局の大変なご努力をもとにここまでつくったものでありますので、引き続き真摯に向き合って議論してまいりたいと思っております。2月議会からということでございますので、来月から議会で議決に向けて議論してまいります。皆さん大変お疲れ様でございました。ありがとうございました。

○奥村誠会長

ありがとうございました。ご協力をいただきまして、時間が思ったよりもさくさく進んで、私は今ホッとしております。

遠藤副会長、お願いします。

○遠藤智栄副会長

2年4カ月、会長をはじめ、委員の皆さま、あとは事務局の皆さまと運営の皆さまに本当に感謝したいと思います。

私も特に震災後は復興の活動に集中してきましたが、10年の一区切りという中でこの総合計画に関わったことは、私が仙台市にどう関わるか、市民としてどうか、どう生きていくか、自分が仙台市で何をなしていくかということのを再設定するうえでもとても貴重な経験になりました。本当に感謝しております。

そういった感謝とともに今一番気になっているのは、やはり今後のことなのです。特に今回の審議会の活動を通じては、最初のキックオフの市民参加イベントですとか、最後の秋のイベントもお手伝いさせていただいて、市民の皆さんに30年後の仙台を投げかけて10年を考えていただいたり、あとは8つのプロジェクトを投げかけて自分は何をどうしたいか、あとは榊原委員や岩間委員などに事例をご紹介いただいたりしたことで「参加したい」とか「気になる」という方がまさにその場でどんどん出てきたわけです。100人の参加者でも続々そういった声が聞かれるということは、この100万人の都市・仙台でやっていった場合、非常に可能性というかポテンシャルがあるのではないかと考えています。

8つのプロジェクトというふうに謳っていますし、区ごとにも取り組みを謳っているので、たぶん市民の皆さまは「8つのプロジェクトがどう進んでいるのかな」とか「区ごとの取り組み、どんな取り組みが動いているのかな」ということで、注目されている方もより増えたのではないかなと思います。年に1回、総合計画の進捗でフォーラムをさせていただきましたけれども、今後はそのフォーラムに限らず、8つのプロジェクトでどんなアクションが仙台市の中で起きているか、そしてそれに参加したいときに参加できそうとか、そういった発信の方もどんどんしていただいて。そうすることで委員の皆さんの活動も各プロジェクトで紹介されて、さらに行動とかアクションに広げていけるのではないかなと感じていますので、是非その辺りの発信の方も期待しております。

あとは分野別の計画も、今後後期計画などで見直しが入ってくると思いますので、10年間そのままというよりは、委員の皆さんにも後期計画や見直しにも是非ご参加いただき

ながら、さらに 10 年後、30 年後の仙台を一緒につくっていったらなと思っております。どうもありがとうございました。

○奥村誠会長

皆さま、ご協力ありがとうございました。やはり運営する側からすると、今日も話ができなかったなと思って帰っていただくのが一番申し訳ない。けれども、だからと言って皆さんに好きなように話してもらっても、まとまる方向に行かないなという中で、悩みながらも進めてきました。

計画全体としては最初にもお話しましたように、「我々はこういう姿を何年か先に実現しますよ」と約束する時代はもう終わってしまっていて、何が起こるか分からない中で、大事な方向が何かということを考えてきました。震災の時も、コロナでもそうでしたが、壁にぶつかって倒れてしまったときに、次の歩みをどちらに出していけばみんなが思う方向に向かっていけるかを示すこと。ただし、遠いところにある「あの山に登ろう」と言っているわけではなく、一步一步を積み重ねることによって、失敗しながらも、その中でうまいアイデアが出てきたり、あるいは自分もほかの人と一緒にやろうかなというような声が出てきたりというようなことを狙っているという意味で、皆さんがイメージしていたのとは異なる形の計画をようやく形にしてこられたという感じがしております。

先ほどからお話ありましたように、「魂が入るかどうか」あるいは「ここからどう実行していくか」が勝負でございますので、これから委員の皆さんもいろいろな立場で個別の計画であるとか、そういったことにご協力いただいたりすることもあると思いますけれども、是非これを機会に「仙台市にはもっと実力があって、みんなで頑張ろうという方向でやっついこうという議論をしたんだ」「それぞれのところで力を出し合っでやっついこう」というような雰囲気鼓舞するつもりで広めていただければと思います。

つたない運営でしたけれども、特に先ほどから何回も出ていますように、竹川委員から「The Greenest City」の提案があったことはよかったですと思います。その直前に私が何を考えていたかという、「Green」はあるだろうなと思っていたのですが、「Green」と仙台の「SD」を使って、SDG II みたいな感じで、世の中の SDGs に乗っかって、「仙台、グリーンで行くかな」とか、こっそりと思っていたのですが、結果的に上手くまとまってよかったですと思います。大変楽しい機会を与えていただきました。

私自身としてはこれで一仕事終わったかなと思っていますので、ちょっと休憩させてもらおうかなと思ったりもしますがけれども、皆さん、引き続きいろいろなところでご協力いただけたらというふうに思います。事務局の方もいろいろとややこしいことをお願いしてもすぐ対応してくださって、大変ご迷惑もおかけしましたけれども、計画もまとまったということでご勘弁、ご容赦いただければというふうに思います。どうも皆さま、ありがとうございました。

それでは最後に事務局から。

○梅内まちづくり政策局長

まちづくり政策局長、梅内でございます。2年4カ月にわたりご議論いただきましてあ

りがとうございました。

変化の激しい時代の中で、10年後を見据えるというのも大変難しい話だったと思います。コロナ禍のこともありまして、そうした変化についてもご議論いただきながら計画に反映することができたと思っております。

最上位の計画でございますので、今日課長が人口推計の変化をご紹介しましたけれども、実はこれに基づいて市のいろいろな計画の人口推計も変わっていくことになります。個別の計画の方にもこの審議会の意見がうまく反映できるよう我々としては調整したつもりですが、どこまで反映できたかなという思いもあります。

先ほど来、お弁当の話があつて、本当はお出しできれば、地産地消のお弁当を食べていただけて良かったのですが、コロナ禍もあつてかないませんでした。

これから議会でもご議論いただいたうえで、各種の個別計画とともに、しっかり実行に移せるように努めてまいります。今日は審議会の終わりでございますけれども、これから総合計画の10年が始まるということで、改めて気持ちを引き締めて取り組んでまいりたいと思います。引き続きご支援を賜りますようお願いを申し上げて、感謝の言葉とさせていただきますと思います。本当に2年4カ月、ありがとうございました。

3 閉会

○奥村誠会長

ありがとうございました。それでは以上をもちまして、仙台市総合計画審議会としての審議を終了したいと思います。

2年4カ月、長期間にわたる審議にご協力いただきまして、ありがとうございました。